

情報通信分野における標準化動向 について

平成27年3月11日

総務省 情報通信国際戦略局 通信規格課

深津 真二

1. 総合科学技術会議の司令塔機能強化

2

(平成25年2月第183回国会 安倍総理施政方針演説)

世界で最もイノベーションに適した国を創り上げます。**総合科学技術会議がその司令塔です。**

「科学技術イノベーション総合戦略」
「日本再興戦略」

(平成25年6月閣議決定)

日本経済再生を強力に推進するため、科学技術イノベーション政策の重点課題として、総合科学技術会議の司令塔機能強化方針(予算措置、法律改正の実施を含む)等を閣議決定

総合科学技術会議・内閣府の各省に対する司令塔機能を抜本的に強化して、科学技術イノベーション政策を強力に推進

1. 政府全体の科学技術関係予算の戦略的策定

進化した「科学技術重要施策アクションプラン」等により、各府省の概算要求の検討段階から総合科学技術会議が主導。政府全体の予算の重点配分等をリードしていく新たなメカニズムを導入。

2. 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

総合科学技術会議が府省・分野の枠を超えて自ら予算配分して、基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据え、規制・制度改革を含めた取組を推進。

3. 革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)

実現すれば産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的な科学技術イノベーションの創出を目指し、ハイリスク・ハイインパクトな挑戦的研究開発を推進。

【「日本再興戦略」改訂2014】（平成 26年6月24 日、閣議決定）

イノベーションの創出に当たっては、世界最高の知財立国を目指し、特許権と営業・技術秘密、国際標準化を適切に使い分け、事業価値の最大化や国際的な優位性向上を図るなど、知的財産の取扱いや標準化に向けた検討を戦略的に進めて行くことが必須である。研究開発の成果を死蔵・休眠させることなく積極的に有効活用し、国富を最大化する観点から、知的財産・標準化の取組を強化していく。 . . .

世界最高水準のIT社会の実現に向けた改革の本格的な実行段階に入る。このため、「世界最先端IT国家創造宣言」を精力的に推進

【世界最先端IT 国家創造宣言】（平成26年6月24日、閣議決定）

放送に関わる事業者が目標やアクションプランを共有・実行するための体制整備や、実用化に必要な技術面・制度面のルールの策定・公開、国際標準化及び技術検証などの環境整備を行い、コンテンツやアプリケーションの提供を行う意欲を持つ者なら誰でも参加できる、新しいオープンなメディア空間を創造し、2020 年には、市販のテレビで4K、8K 放送やスマートテレビに対応したサービスを受けられる環境を実現する。

【知的財産推進計画 2014】（平成26年7月4日、決定）

特定戦略分野における国際標準化戦略について、国際的な議論を主導するとともに、関係者による自律的な取組を推進する。

【情報通信分野における標準化政策の在り方】（平成23年2月答申）

■ 標準化活動の推進における官民連携の在り方

放送のデジタル化や通信ネットワークのブロードバンド化・IP化といった技術の革新がグローバルな規模でスピード感をもって進展していること、デジュール標準に加えてフォーラム標準の重要性がますます高まっていること、といった状況により、標準化活動のために必要とされる労力も増加している。

過去の答申等において整理されてきた役割分担を踏まえて官民がフォーラム標準、デジュール標準の双方においてそれぞれの役割を果たして行く中で、上記①で述べた事情により、民間において、標準化活動に必要な対応をすべて自力で実施することが困難になりつつあるため、活動内容の性格等からみて民間単独で実施することが必ずしもふさわしくない部分について、政府による何らかの支援を検討すべきである。

ただし、政府が支援を行うにあたっては、支援の対象や内容について十分に精査するとともに、評価の在り方を明確にすることが必須である。

また、民間においては、経営層も含めて国際標準化活動の意義について戦略的に検討し、民主導で対応すべき部分についてはより一層主体的に取り組むことが期待される。

【ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ】（平成26年6月公表）

■ 出口戦略を重視した標準化戦略、仲間作り

我が国の強みとなる技術を確立することだけでなく、出口戦略を重視した標準化戦略や、標準化活動において仲間となる国や企業をいかにして作っていくかが重要である。標準化戦略における当面の重点分野として、①スマートグリッド、②デジタルサイネージ、③次世代ブラウザ（Web and TV 等）が挙げられる。また、中期的に推進すべき重点分野としては、①新世代ネットワーク（ネットワーク仮想化、M2M/センサーネットワーク）、②フォトリックネットワークなどが挙げられる。

持続的成長・発展に向けた「歴史的な分岐点」に立っているという危機感の共有



Comprehensive strategy

スマート・ジャパンICT戦略

ICT成長戦略Ⅱ

ICTを活用して様々なモノ、
サービスを繋げることにより、
新たなイノベーションを創出

National strategy

**ICT国際競争力強化・国際展開
イニシアティブ**

ICTの国際競争力強化・国際展開
を通じた国際貢献

International strategy

Mission ミッション

「世界で最もアクティブな国になる」－ICTによるイノベーションで経済成長と国際貢献－

Vision ビジョン

①2020年までに「知識情報立国」を実現

世界をリードする、リアルとバーチャルが融合した、「知識・情報」のフローとストックを戦略的に活用する社会の実現

②ICTによる「三位一体」解決

地球的課題、我が国の課題、相手国の課題をICTで「三位一体」解決

③グローバルな視点で、「スピード」と「実践」

「ヒト、モノ、カネ」から「ヒト、モノ、カネ」+「情報」へ

Action アクション

①国内戦略と国際戦略の連携

国内戦略:「ICT成長戦略II」の推進－ICTを活用して様々なモノ、サービスを繋げることにより、新たなイノベーションを創出－
国際戦略:「ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ」の実現－ICTの国際競争力強化、国際展開を通じた国際貢献

②2020年東京オリンピック・パラリンピックでの世界最先端ICT環境の実現

ビジョン

ICTを活用して様々なモノ、サービスを繋げることにより、新たなイノベーションを創出

アプローチ

重点プロジェクト

国家戦略特区等の活用

地域の活性化

- ・ ICT街づくり
- ・ G空間シティ
- ・ 農業(スマート・アグリ)

社会的課題解決

- ・ 医療(スマートプラチナ社会)
- ・ 教育(教育 × ICT)
- ・ 防災(公共情報コモンズ等)
- ・ 交通(ITS(自律走行支援))
- ・ 女性の活躍支援
(ワークスタイル確立(テレワーク等))
- ・ 社会インフラ老朽化対応
- ・ 電子政府・電子自治体
- ・ ICT新事業創出(ベンチャー支援等)

東京オリンピック・パラリンピック

- ・ 無料公衆無線LAN整備の促進
- ・ 「グローバルコミュニケーション計画」の推進
(多言語音声翻訳システムの高度化)
- ・ 4K／8Kの利活用推進
- ・ 放送コンテンツの海外展開推進

プラットフォーム

- ・ G空間プラットフォーム(個々人に応じた避難誘導等への活用)
- ・ ICT街づくりプラットフォーム(普及展開・共通IDの活用)
- ・ ビッグデータ、オープンデータの活用(農業、医療、社会インフラ分野等)

インフラ

- ・ 観光地や防災拠点等における無料公衆無線LAN整備の促進(「フリーWi-Fi」構想)
- ・ 4K／8Kの利活用推進(放送、医療、教育分野等)
- ・ ユビキタスネットワークの整備(世界最先端のモバイルネットワーク／M2M／IoT／ファブ社会(3Dプリンター等)など)
- ・ 世界最高レベルのICT基盤の更なる普及・発展に向けた競争政策の見直し等

環境整備

- ・ 人材育成・活用(「プログラミング教育」の実施、「データサイエンス人材」の育成等)
- ・ 研究開発の推進(ネットワークの超大容量化、以心伝心の実現(多言語音声翻訳、ウェアラブル・センサー・ロボット等の活用(脳情報・生体情報等の活用))、自然なユーザーインターフェース等)
- ・ 情報セキュリティ対策の推進、パーソナルデータの環境整備等

共通基盤

ビジョン

ICT国際競争力の強化・国際展開を通じた国際貢献

－ 2020年までに、現在の海外売上高の約5倍の17.5兆円を目指す－

アプローチ

重点プロジェクト

地域×分野で戦略展開

- － シーズからでなくニーズから
- － 「何を戦うか（分野）」、「どこで戦うか（市場）」、「どこと戦うか（競争相手）」を明確にした戦略の推進
 - ・ 何を：防災、G空間、農業、コンテンツ、医療、教育、電子政府…
 - ・ どこで：ASEAN、インドなど

「ICTパッケージ」展開

- － 相手国の課題解決のため、ソリューションを「パッケージ」で提示
- － ICTインフラから端末、システム、制度・運用、コンサルまで
- － 運用から新たな問題把握につなげ、信頼と長期的関係に

新たな「アーキテクチャー」創造

- － 「インフライノベーション」を全面に掲げる
 - ・ 遠隔医療、遠隔教育、スマート・アグリなど
- － エコシステムの確立を目指す
 - ・ オープンプロトコルの積極的活用とコア技術確保の両立
- － 日本ブランドの確立
 - ・ ICTショーケース
 - ・ ロゴマーク制定とプロジェクトプレート
 - ・ 「安心・安全」、「おもてなし」のキーワード

共通基盤

機動的で実効的な「官民連携体制」の構築

- － 「官民ミッション」の派遣（トップセールス）
- － 「官民ローカル・タスクフォース」の形成
- － ICT国際競争力強化・国際展開に資する資金供給等の仕組みの整備

5. ICT分野における標準化の推進

9

ITUにおける情報通信インフラ等の標準化活動を引き続き推進するとともに、次世代ブラウザ等のフォーラムにおける標準化活動を支援。

国際標準化機関への対応

ITU、ISO(工業標準一般の標準化団体)、IEC(電気・電子技術の標準化の国際団体)等

国内会議との連携

IT戦略本部、知的財産戦略本部、スマートコミュニティ・アライアンス等

民間フォーラム等への対応

IEEE(米国の電気・電子技術学会)、W3C(インターネットの表示技術(ブラウザ)に関する標準化団体)等

<ITUにおける標準化活動の推進>

情報通信審議会

【ITUへの対応】

ITU 部 会
関 連 委 員 会

民間標準化団体

・ ARIB、TTC等

<フォーラムにおける民間主導の標準化活動を支援>

ICT国際標準化推進会議

連 携

次世代ブラウ
ザ

光アクセスシステムに
関する標準化推進の
ための検討会

Wi-Fi 推進協議会
(無線LANの高速認証技術
の標準化)

スマートグリッド
通信インタフェース
標準化検討会(仮称)

Webと車に関する検討会

デジタルサイネージに
関する検討グループ

次世代ブラウザ Web and TV
に関する検討会

次世代Webブラウザの
テキストレイアウトに
関する検討会

標準化テキスト

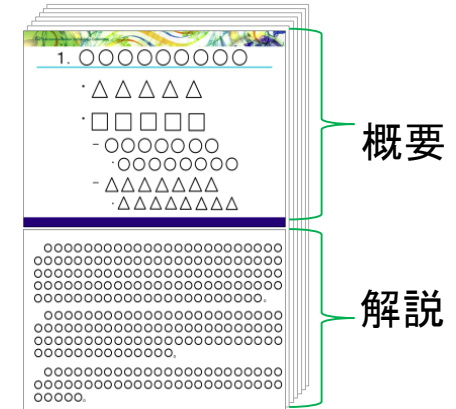
標準化の重要性や仕組みを体系的に理解できる基礎的なテキストを作成

【対 象】初めて標準化に関して学ぶ者

【主な内容】標準化の必要性と意義、主な標準化機関の概要・役割、標準化と特許の関係、相互運用性と認証等について解説

【目 次】

1. 情報通信分野における標準化とは
2. 標準化機関
3. 標準化機関の相互協力・連携
4. 標準化と特許
5. 相互運用性と認証
6. 標準化事例



平成26年度は、更に人材の裾野を広げると同時に底上げを図るために、**標準化活動経験者の能力向上**に資するテキストを作成。

国際交渉テクニックセミナー

【主 催】日本ITU協会

【後 援】情報通信技術委員会

【日 程】2015年 1月16日(金)
2月20日(金)

【内 容】国際標準化を含めた、海外ビジネスへの進出事例講義を通じ、戦略の立て方、国際交渉のテクニックを学習。議長経験者等のエキスパートによる指導。

ロールプレイ、模擬国際会議、
提案文書作成等にチャレンジ！
事業者間での「他流試合」！

(一財)日本ITU協会 主催
国際交渉テクニックセミナー開催のお知らせ
～タフネゴシエーターへの第一歩
バイ交渉からマルチ交渉まで～

国際交渉のエキスパートを目指す方々
スキルアップをしたい方々へ

国際交渉のエキスパートを講師陣とし、
参加者の皆さまをお迎えします。
2日間の集中講義とメールによる添削で、
タフネゴシエーターを目指しましょう！

本セミナーのポイント

- 1 日本生まれのIT技術による海外進出事例を通して、その成功要因、失敗要因を探り、戦略・ロジックの立て方が学べます。
- 2 国際交渉や国際会議では本人が提案すべきことや、交渉の進め方のノウハウを習得。
- 3 バイ交渉はロールプレイ、マルチ交渉は模擬国際会議の経験が効果的です。
- 4 模擬国際会議の提案文書作成にチャレンジ。経験者から講師陣による添削指導が受けられます。
- 5 懇親会(任意参加)。ご参加の皆さまのネットワーキングにお役立て下さい。

セミナー開催概要

- 1 開催 主催(一財)日本ITU協会 後援(一社)情報通信技術委員会
- 2 会場 TTT 会議室(東京都港区芝公園1-12 芝公園電気ビル2階)
※都立芝公園駅より徒歩10分、大塚、大塚駅が便利です
- 3 日程 2015年1月16日(金) 2月20日(金)
- 4 講師 次ページをご参照ください
- 5 フロント 20ページを参照ください
- 6 参加費 20,000円/人 (主催・後援団体会員費: 20,000円/人)
お申込み後にはご請求書をお送りいたします
※会場費(1500円)は別途ご負担ください。一財日本ITU協会 TIG
- 7 定員 30名(先着順)
※一部の職能を希望する、一定の希望者が必要となります。国際交渉経験者、または今後経験される予定の方々のご参加をお待ちしております。
- 8 募集 2014年11月開始
- 9 お問合せ 担当: 大塚おひさ kuma@nitui.or.jp

ご静聴ありがとうございました。



参考文献

- 平成26年版情報通信白書
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/index.html>
- TTC 情報通信分野における標準化活動のための標準化教育テキスト
http://www.ttc.or.jp/study_std/stdtext_note/
- スマート・ジャパンICT戦略
http://www.soumu.go.jp/main_content/000296880.pdf
- ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ
http://www.soumu.go.jp/main_content/000296906.pdf

